

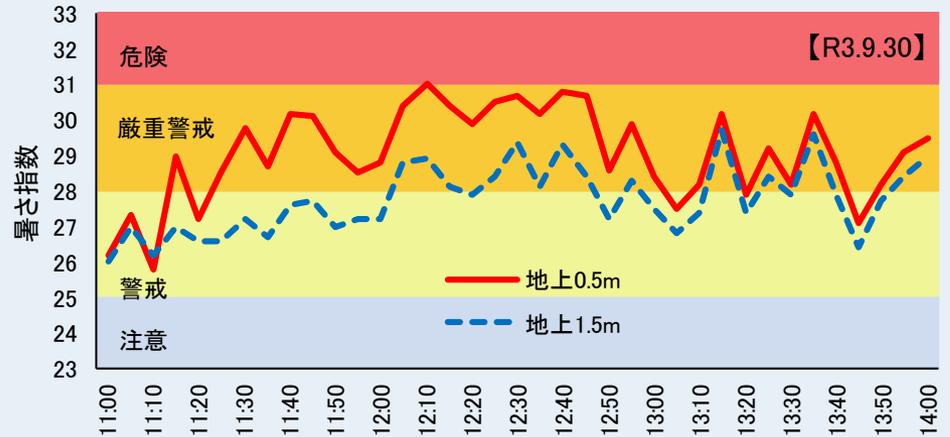
その他

アスファルト上



熱中症搬送者数が多い場所の一つである道路や公衆（屋外駐車等）の状況把握としてアスファルト上で調査

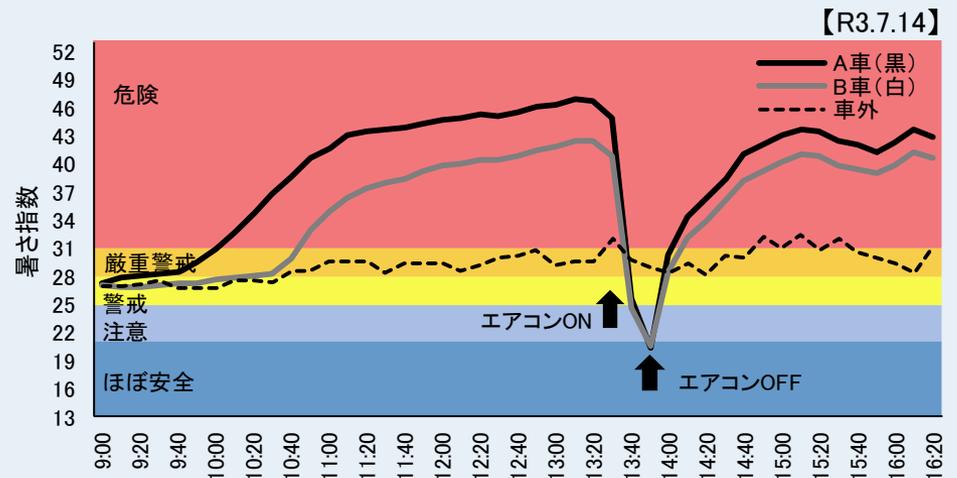
子供への影響として地上0.5mと成人への影響として地上1.5mで測定



- ・地上0.5m(子供想定)は1.5m(成人想定)より最大で2程度高い
- ・予防行動の目安となるレベルが異なる程度の差もあり

車内

外装色が違う2台(メーカーは異なるが、車内容積、ガラス面積・種類、内装色等はほぼ同じ)



- ・車外の暑さ指数は30前後、黒系の車内は最高47、白系は42
- ・エアコンを切ると急激に上昇し、15~20分後には「危険」レベルに達した

日傘の効果

測定概要

- 測定日時: 令和3年9月1日 13時～16時30分
- 天気: 晴れ時々曇り
- 測定場所: 旧衛生環境研究所駐車場
- 測定器: 京都電子工業・WBGT-213BN
- 測定間隔: 5分、測定高さ: 1.5m

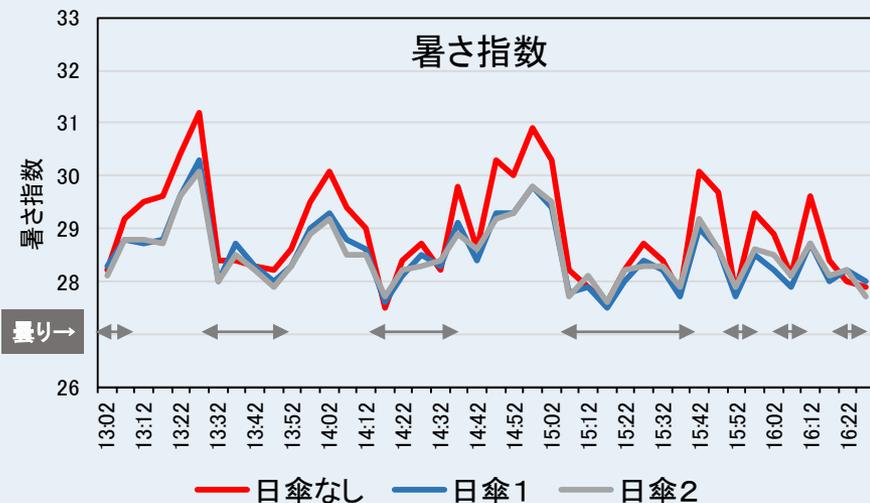
■ 日傘

- 1: DUNLOP SRIXON φ110cm(表面ブラック、裏面シルバー)
- 2: DUNLOP SRIXON φ150cm(表面シルバー、裏面ブラック)



測定結果

- ・日傘により暑さ指数が最大1.1低減された
- ・黒球温度が最大で9.6℃低減(湿球温度、乾球温度の差はない)



$$\text{暑さ指数(屋外)} = \text{湿球温度} \times 0.7 + \text{黒球温度} \times 0.2 + \text{乾球温度} \times 0.1$$

